授業科目 基礎看護学方法論Ⅳ （経過別・症状別看護）	専任教員名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前/後 1年次/後期
講義のねらい	1　急性期の特徴と看護について理解する。 2　慢性期の特徴と看護について理解する。 3　回復期の特徴と看護について理解する。 4　終末期の特徴と看護について理解する。 5　主な症状別の看護について理解する。			

授業形態	講義・演習	教科書	担当及び時間
講義内容	1　経過別看護 1)急性期の特徴と看護 (1)急性期の特徴(2)治療別看護 ①ICU・CCU の患者の看護・特徴・体制・患者の特徴 ②インフォームドコンセント 2)慢性期の特徴と看護 (1)慢性期の治療・看護の特徴 (2)回復期・リハビリ期の特徴①回復期の特徴と看護 3)終末期の特徴 (1)キューブラロスの心理状態 (2)死亡時の看護①患者の変化・バイタルサイン・意識・聴覚の状態②死の 3 徴候③死後のケア(DVD 視聴を含む) (3)家族への援助	❶❷	15
	2　症状別看護 1)発熱時の看護 (1)発熱時の看護①炎症反応・発熱とは②炎症反応と発熱の観察・看護 2)消化・吸収障害の看護 (1)便秘(2)下痢 3)呼吸障害時の看護 (1)呼吸障害とは(2)呼吸障害のある患者のニーズ (3)感染・発熱の予防(4)酸素療法の必要性 4)循環障害時の看護 (1)循環障害予防と早期発見(2)循環促進 5)疼痛時の看護 (1)痛みのメカニズム (2)痛みに影響する因子 (3)痛みの種類(身体的・精神的・社会的・スピリチャル的) (4)痛みのアセスメント (5)痛みのある患者の看護	❶❷	15

教科書	❶新体系　看護学全書　　臨床看護総論　基礎看護学④(メヂカルフレンド社) ❷系統看護学講座　専門臨床看護総論　基礎看護学④(医学書院)
参考文献	1　看護過程に沿った対症看護　第5版　(学研メディカル秀潤社) 1　新体系　看護学全書　＜別巻＞看護技術の患者への適応(メヂカルフレンド社) 3　必要に応じて資料を配付する。 4　DVD　実践　看護技術シリーズ 終末期とその後の看護技術編　VOL.1 終末期の苦痛と緩和ケア VOL.2 死後のケア
評価方法	終講試験 100 点
備考欄	・基礎看護学方法論Ⅰ・Ⅱを受講しておく。 ・図書室の闘病記に関する本を1冊以上読んでおく。 ・教員とのコンタクトについては、授業終了後又は終講時に案内する。